

食べられる山野草の放射能測定

2017.10.22
森本晶子 染木泰子 大隅晶子

種類によって大きな差がある

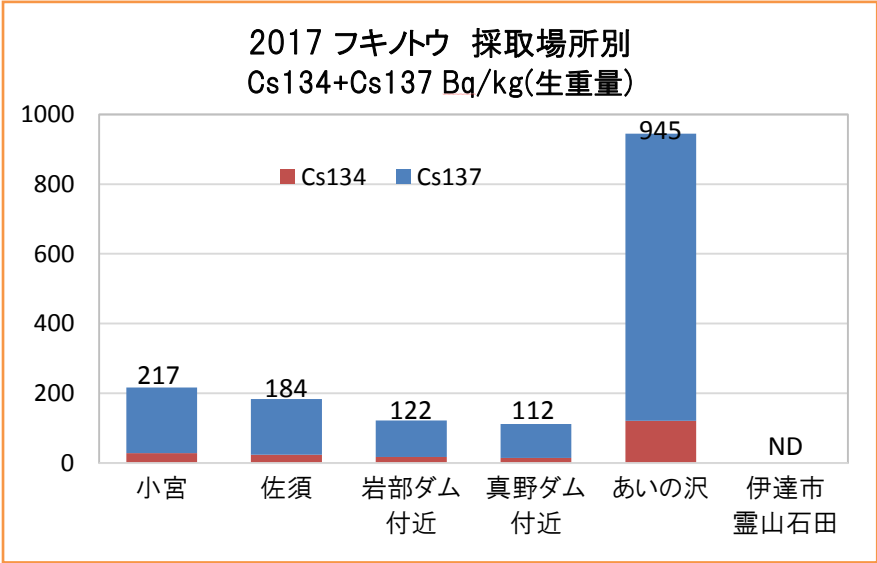
近い場所で採取したものでも、種類によって非常に大きな差がみられた。

2016 年 5 月 8 日 大火山 Cs134+Cs137	生重量 Bq/kg	乾重量 Bq/kg	地上10cm 空間線量 μSv/h
コシアブラ	5,450	38,282	3.35
タラノメ	468	2,955	1.60
ゴンボツパ	164	940	2.32
ワラビ	51	520	2.21



場所によってばらつきが大きい

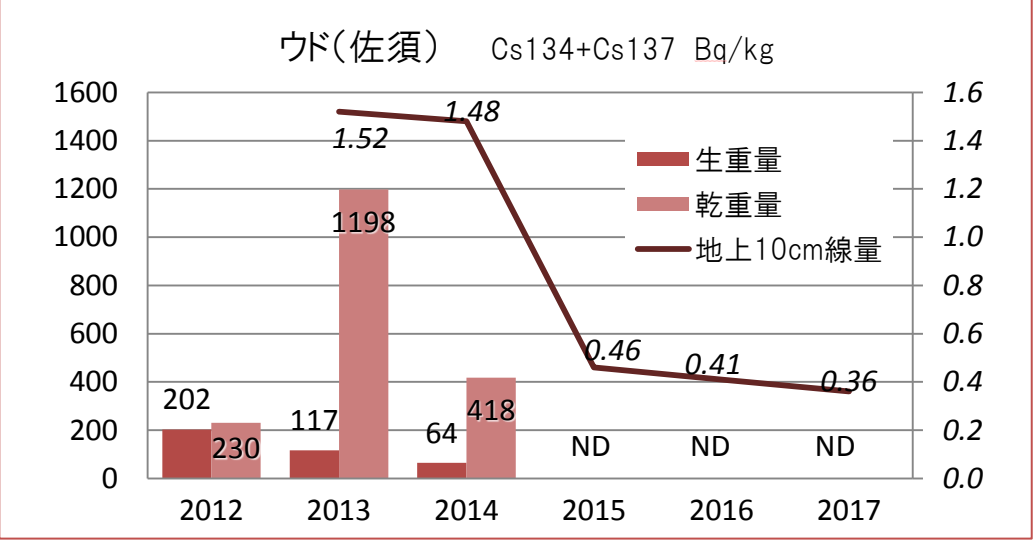
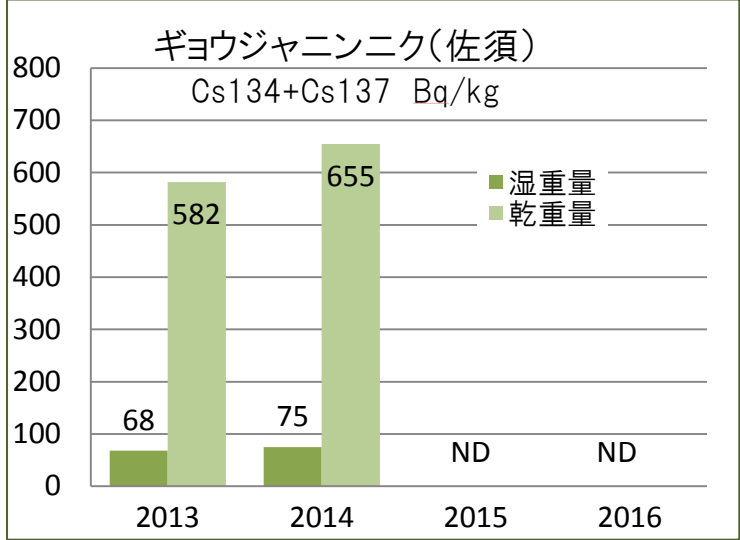
あいの沢はホットスポット（ホットエリア）となっており、その汚染状態を反映していると考えられる。
また近接した場所でもばらつきが見られ、汚染状態にムラがあることを表していると考えられる。



佐須（宗夫宅周辺）フキノトウ Cs134+Cs137		生重量 Bq/kg	乾重量 Bq/kg
2013	真野川南東側	110	873
	真野川北西側	164	992
	県道東側	400	2,963
2014	宗夫宅敷地	129	568
	真野川南東側(秋田フキ)	266	385
2015	真野川南東側	62	219
2016	真野川南東側	不検出	-
2017	真野川南東側(秋田フキ)	54	488
	真野川北西側	184	1,395

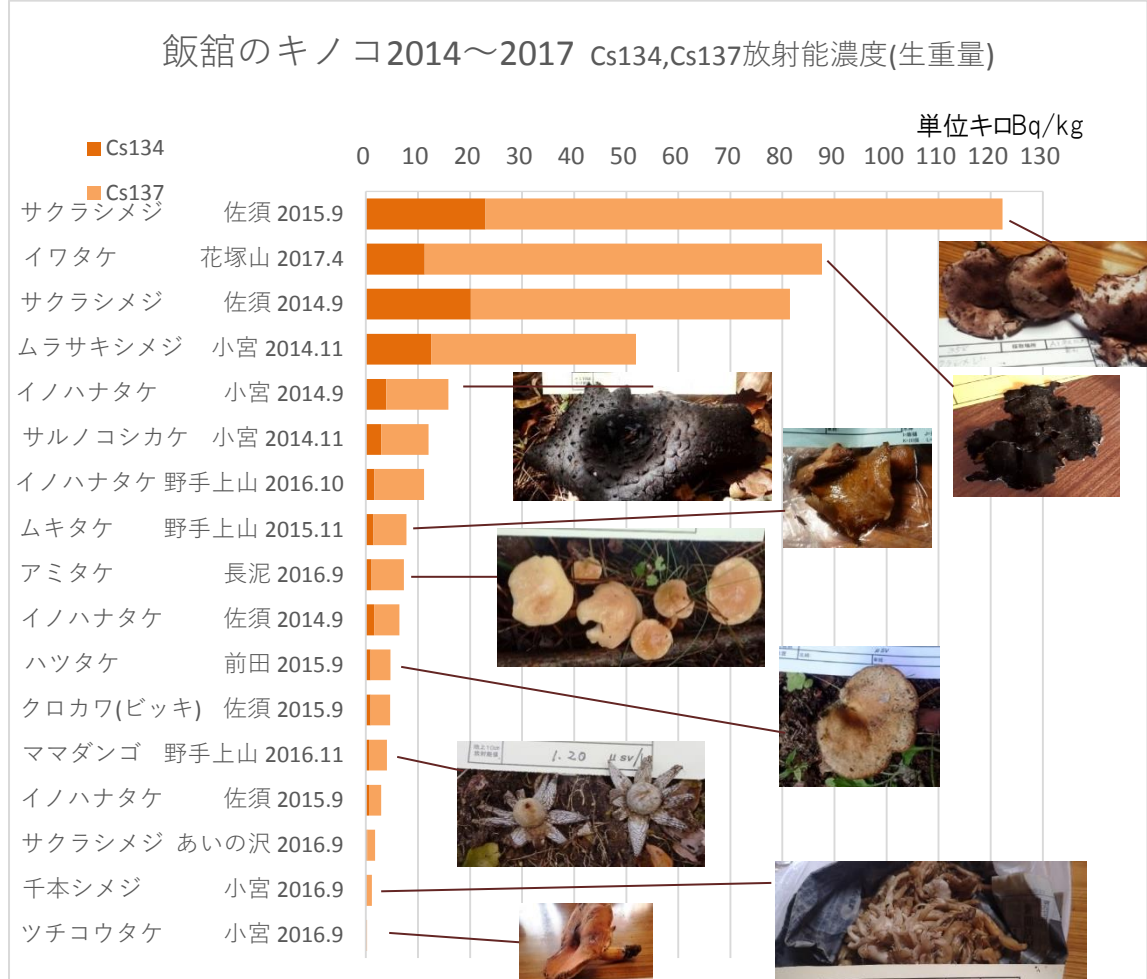
下がっているもの(除染の効果)

いずれの採取地点も、2014 年後半に周辺の除染が行われた。その後の測定は不検出となっている。



キノコと木の実の放射能

キノコは概して高い。一方木の実は低い傾向が見られ、周辺の線量が高い場所でも不検出となるものもあった。



木の実の放射能濃度 Cs134+Cs137		生重量 Bq/kg	乾重量 Bq/kg	地上10cm 空間線量 μSv/h
ブラックベリー	2013 佐須	11	94	0.91
ヤマボウシ	2015 前田	83	330	0.76
シモグミ	2015 前田	不検出	---	0.67
ヨツツヅミ	2013 野手上山	447	2,066	---
ヨツツヅミ	2016 長泥	202	851	3.20
ミツバアケビ	2015 あいの沢	35	218	---
アケビ	2016 長泥	不検出	---	2.36
グミ	2017 長泥	44	335	2.10
ブルーベリー	2017 佐須	不検出	---	0.50
ウメ	2016 あいの沢	92	758	1.34
ウメ	2017 あいの沢	117	704	1.23
クリ	2016 長泥	1,006	2,252	3.01
クリ	2016 小宮	223	490	---
クリ	2016 比曾	169	395	---

2014 年 8 月(野辺山)
タマゴタケ 35Bq/kg(生重量)
ハナビラタケ 不検出